

市民団体「北見赤十字病院の明日を考え支援する会」(谷川勝男代表)は2日、北見赤十字病院(吉田茂夫院長)で働く研修医を激励するための「北見での思い出づくりの集い」を北見市の野付牛公園で開いた。研修医10人と支援者、病院職員ら計40人以上が、晴天の下で焼き肉やフォークダンスなど楽しいひとときを過ごした。(権藤泉)



仲良くダンス 研修医激励

北見日赤支援の会が集い

地方の医師不足が課題となる中、研修医に「北見で研修して良かった」と感じてもらい、将来的な定着に結びつける狙い。

昨年引き続き2回目の取り組みで、趣旨に賛同した地元の坂口精肉店とオホーツクビールが焼き肉とビールを提供し、北見フォークダンス協会がダンスを指導した。

研修医たちは笑顔でダンスに興じた後、サガリやホルモンなどの焼き肉を堪能した。

研修医の斎藤宏章さん(25)＝福岡市出身＝は「地域のひととの距離が近くてうれしい」。大川陽史さん(28)＝札幌市出身＝は「家と職場の往復で孤独なので、こういう機会はありがたい。北見での就職も考えている」と話していた。

衣装を身に着けフォークダンスを楽しむ研修医ら